

令和6年度 学校評価（自己評価）集計結果

5を5点、4を4点、3を3点、2を2点、1を1点として、平均を算出し、四捨五入して点数を表示した。
* 適切 5 ほぼ適切 4 どちらとも言えない 3 やや不適切 2 不適切 1

（1）教育理念・学校教育目標（校長）4.1（平均）

①	学校の理念、目的、望ましい学生像が定められているか。	4.1
②	学校における職業教育の目標が明確か。	4.4
③	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか。	4
④	学校の理念、目的、学生像、将来構想等が学生・保護者に周知されているか。	3.7

1) 課題等

a・歩きたばこが多かった。（指導部）
b・学校と保護者との連絡ツールがない。（事務部・教務部）
c・将来構想をどの部署で考えているか不明。
d・入学時に、問題になりそうな人の入学を考えてみる必要性。
e・学生、保護者への周知

2) 今後の改善方策等

a・何度も繰り返し指導。
b・グーグルのクラスルームの活用を早く構築したい。
c・構想委員会の発足。
e・SNS（HP）や入学式、授業参観等でアナウンスをしていく。

（2）学校運営（事務部）3.9（平均）

①	経営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4.2
②	運営組織や意志決定機能が明確化され、有効に機能しているか。	3.9
③	人事、給与等に関する規定等は整備されているか。	3.8
④	教務・事務等の分掌組織、意志決定システムが整備されているか。	3.8
⑤	教育活動に関する情報公開が適切にされているか。	4.3
⑥	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	3.6
⑦	予算・収支計画が有効かつ妥当なものとなっているか。	3.6
⑧	指導力を備えた教員（本務・兼務）の確保に努めているか。	3.6

1) 課題等

a・⑧指導力を備えた教員の確保は難しい。（給与の見直し必要）
b・教員不足
c・今後を見据えて、新しい人材の確保が必要。
d・事務と教務の校務がきちんと分かれていない。 ・一個人の意見が大きくなることが多くみられる。
e・若い教職員の不足。
f・意思決定システムはあるが、正常に機能していない。
g・数年後の退職ラッシュにそなえて、新しい若い先生の確保。
h・⑥
i・学籍簿や履修簿など、現システムでは時間がかかりすぎる。（事務部・教務部）
j・諸帳簿の効率化（事務部・教務部）
k・新しい教員の研修システムの確立（教務部）

2) 今後の改善方策等

a・⑧在学中に希望調査を実施し、卒業後、実習助手として雇用し、育成する等をする。
b・HPに募集をすることは可能か検討してほしい。
c・実務経験を積む時間を考慮し、早めの人材確保が必要。
d・校務の分掌を守るべきである。 ・実習の教材費の予算が教員にはわからないので明らかにしてほしい。
e・採用を率先的に行い、伝統を守りぬく。
f・全教員の前で確認、共有する。
h・googleのクラスルーム、諸帳簿のシステム化（出席簿を含む）
i・外部発注し、新システムなどの導入を検討する必要があると思います。
j・教務アプリの導入等
k・6カ月くらいの内容を明確化する。

(3) 教育活動・教育環境（教務部）4.2（平均）

①	学校教育目標・指導要領・学則等に基づいた教育課程が編成されているか。	4.3
②	学科の到達レベルや学習時間の確保は明確か。	4.4
③	実践的職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか。	4.3
④	理・美容部会が機能し、教育活動の改善が図られているか。	4.3
⑤	授業評価の実施・評価体制が図られているか。	4.2
⑥	成績評価、単位認定、進級・卒業の基準は明確か。	4.4
⑦	資格取得に関するカリキュラム、指導体制は整っているか。	4.4
⑧	教員が先端的知識・技能等を習得するための研修等の取組が行われているか。	3.6
⑨	学校行事等、適切に立案され実施されているか。	4.5
⑩	施設・設備は必要性に対応できるよう整備されているか。	4.4
⑪	防災体制は整備されているか。	4.5
⑫	生徒指導の重点（挨拶・マナー・後始末）が適切に実施されている。	3.5

1) 課題等

a・⑧教員研修の予算を考える。（研修に参加し、社会のニーズに対応できる学生を育む）
b・⑫生徒指導の重点は教員（担任）の資質が大きく関わってくる。
c・⑫後始末や掃除が汚い。やらない学生を自らできるようにしたい。
d・研修旅行の必要性について。
e・施設、設備の整備が必要な時期だと思う。
f・講習が無料のものに限られている。
g・各部会が報告会となっている。
h・⑧
i・⑫
j・生徒指導、特に挨拶ができていない。今年はマナー、ルールが守られていない。
k・モラルがない学生が一定数おり、周りに悪影響を与える学生が見える。
l・校内のゴミなど目立つと思いました。

2) 今後の改善方策等

a・⑧研修費を予算案に上乗せする必要あり。
b・⑫勤務（自己）評定書を提出し、校長との面談必要。
c・声をかけ、一緒にするなど指導していく。〈根気よく〉
d・計画を立てて検討してほしい。
e・優先順位を考え、計画的に実施。
f・今、流行している技術を学べる講習をしたい。（有料を含む）
g・理美に分けず部会を行い、広く意見を求める。

- h・まつエクなど研修に対して、日当が出てほしい。
- i・何度も声掛けをし、できない学生には個別指導を行う。
- j・教員が手本となるように、明るい声のトーンで挨拶をする。マナー、ルールを守ることについて繰り返し伝えていく。
- k・厳しい対応をすることを検討しなければならない。
- ・電子黒板をきちんと活用し、わかりやすい授業を考える。

(4) 学生支援

4.1（平均）

①	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。（教務部）	4.4
②	学生相談に関する体制は整備されているか。（指導部）	4.2
③	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。（事務部）	4.2
④	学生の生活環境への支援は行われているか。（指導部）	3.8
⑤	保護者と適切に連携しているか。（指導部）	4.2
⑥	卒業生への支援体制はあるか。（指導部）	3.9
⑦	高校等との連携による職業教育等の取組状況はどうか。（広報部）	3.9

1) 課題等

- a・③学校独自の支援体制があればよい。
- b・支援する体制はあるが、学生からの声掛けが少ない。
- c・各支援が流動的。
- d・⑥卒業生の支援
- ・学生、保護者との連絡ツールは必要だと思う。

2) 今後の改善方策等

- a・③クレジット会社と提携し、本校独自の支援体制として謳う。
- b・悩んでいる事を直接相談するには勇気がいる事が多いので、SNS等を使って相談できるようにしたい。
- c・こういった支援の形があるかまとめ、文章化し発信する。
- d、卒業時に3か月後、6か月後、1年後でアンケートを実施する等のアナウンスをしておいて、就職後の状況等を聞き、相談しやすい体制にしておく。

(5) 広報・募集活動（広報部）

4（平均）

①	広報・募集活動は重点化・効率化が図られ適正に実施されているか。	3.8
②	広報・募集活動を支援する職員体制ができているか。	3.9
③	広報・募集活動では、教育成果が適正に伝えられているか。	4.2

1) 課題等

- a・②人材不足は否めない。
- b・広報活動に対する支援をする気持ちはあるが、広報から声がかからない。
- c・人員不足が続きすぎている。
- d・人材不足
- e・広報活動の人員不足〈広報というよりは学生の口コミが一番なので・・・〉
- 広報活動の支援不足

2) 今後の改善方策等

- a・②専門性のある職員の確保〈広報のプロ〉し、教員は教務にウェイトを置き、必要により協力する体制を取ればと思う。
- b・広報活動をもっとオープンにする。
- c・採用
- d・毎年人材が変わるのではなく、固定された戦力、人財が必要。教職員ではなく、広報員として外部からの人材採用もあっていいのではないかと考えます。

e・広報で話せる強みをしっかり明言できるものを作る。
学生の満足度を上げていく。（学生の質の向上も必須）

(6) 法令等の遵守（事務部）

4.3（平均）

①	法令・専修学校設置基準・就業規則等の遵守と適正な運営がなされているか。	4.4
②	個人情報の保護対策がとられているか。	4.4
③	自己評価の実施と問題点の改善が行われているか。	4.1
④	自己評価結果を公開しているか。	4.4

1) 課題等

a・自己評価はするが、改善は行わない。

2) 今後の改善方策等

a・改善について、誰がいつ行うか決める。

(7) 社会・地域貢献（指導部）

4.2（平均）

①	学校の教育資源や施設を活用した社会・地域貢献を実施しているか。	4
②	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	4.3

1) 課題等

a・サロン実習室は以前に比べ、学生に利用（授業）してもらっているが、せっかくの施設なので活用した方がよい。
b・2Fサロンの活用。10Fの活用。
c・ボランティア活動を行うには学生の環境が悪い。（アルバイト優先になる）
d・清掃活動の他にもなにか地域貢献ができるとよい。
・ボランティア活動の引率の必要性。
・清掃活動以外の何ができるのかが課題。

2) 今後の改善方策等

a・放課後や修得者コースの授業等を利用し、近隣のツクイ等とタイアップし、施術する等の工夫するのが望ましい。
b・2F,10Fをイベント等で活用してもらえよう、掲示したりして使っていただける機会をつくる。
c・郊外清掃を行うのみで良いと思う。
d・社会の一員として挨拶運動に参加してみる。清掃活動の範囲を少し広げてみる。
・社会奉仕活動を続ける。

(8) 学校運営等について自由に記述して下さい。
・予算ありきの話になりますが、教職員の資質能力を高めるための研修が必要。 ・教職員が意欲を持って学校運営に携わるようにすることが重要なので、教職員の評価と処遇の在り方について検討する必要がある。（リーダーとなりうる人材の配置等） ・今年は情報システムがずいぶん進化しましたが、個人携帯電話での連絡、学籍簿等の校務アプリ、クラスルームの活用等、まだ達成できていない事が多いので、少しでも教員が学生指導に力を入れることができるように、また、確認作業も簡易で直しの少ないように色々な物事を取り入れるようにしたい。 ・広報人員の採用はそろそろ本気で検討していただきたい。 ・電子黒板を効率よく活用するため、見やすく、伝わるパワーポイントの作成講習会。 心理カウンセラーによる学生の心のケアのための講習会。 上記2つの講習会を講師を招いて実施していただけないでしょうか。 ・(3)の⑥単位認定等について、少しずつ明確化してきたが、移行時期なので、ケースによって多少の違いが生じていて、対応が変わることもあり、個別の事案がでたりする。（学校に学びに来ている学生をちゃんと学びを深めてあげたい。） ・積極的な研修への参加や、資格取得ができるとよい。必修科目の講師のバックアップできる常勤の教員がいると安心できる。

令和7年度外部評価委員会報告書

1 日 時 令和7年6月30日(月) 13時30分～15時05分

2 場 所 SENDAI中央理容美容専門学校 3階会議室

3 出席者 外部評価評価委員
矢子 浩次郎委員長、兼重 康浩委員、伊藤 貴章委員、中山 由美委員
本校教職員
横橋 健、品川 真里子、櫻井 江利子、後藤 和幸

4 欠席者 柳澤 邦充委員

5 審議内容

① 令和7年度学校経営方針について

- ・学生一人一人を大切にし、きめ細やかな対応を行い、教育内容の改善を更に進めていきたい。
- ・学年・学級経営の重点として「挨拶・マナー・後始末」を掲げ、教師が模範となり学年・学級経営に励み、人間教育の推進に努めている。

② 令和6年度学校評価（自己評価）について

概ね4以上の評価である。良好な学校経営がされているのではないかと考えている。

(1) 教育理念・学校教育目標

④について、学生には教育目標を教室に掲示し、日々の生活の中で意識させている。また、保護者には入学式のしおりや式辞などで周知している。

(2) 学校運営

⑥について、主要箇所へのWi-Fi環境の整備、電子黒板の導入により学習環境が向上している。

教務の業務効率化には、予算の関係もあり一定期間が必要ではないか。

学生、保護者との連絡ツールとしてGoogleクラスルームの導入に向け準備中であるが、時間を要している状況である。

(3) 教育活動・教育環境

電子黒板導入により、手元動作を画面に映し出せるなど授業内容の充実に繋がっている。

(7) 社会・地域貢献

学生会を中心に地域貢献活動として校外清掃を実施している。継続することで地域との連携を図っていきたい。

③ 学校評価（自己評価）に対して検討・提言

- ・概ね良好な学校運営が行われている。
- ・Googleクラスルーム導入について、他のアプリの検討も含めて連絡ツール導入を進めてはどうか。
- ・学生による校外清掃は地域貢献活動としては重要ある。継続してもらいたい。

④ その他

- ・学生アンケートによる意見、要望は学校への期待であると思う。見過ごすことなく対応してほしい。
- ・オーナーとしては即戦力になる人材を求めている。シャンプーが出来る(手が動く)と就職先のやり方に対応ができ、即戦力なる事が出来るのではないか。
- ・学校は時代の変化に試行錯誤しながら対応し、指導していると感じている。

※報告事項として委員会名称を「外部評価委員会」に変更したことにより、委員会規程の一部改正があったことを報告した。